

# 第19回 高の原カルチャーサロン

場所 奈良市北部会館市民文化ホール

# 江戸時代の文化とその広がり

## ——怪談、出版、文芸から見る江戸時代——

江戸時代は、平和が続き、商業活動が盛んになりました。そのため、人々の生活にも余裕が生まれ、さまざまな文化が栄えました。今年の大河ドラマ「べらぼう」でも、江戸時代中期を舞台に、出版や文芸など、当時の文化が大きく扱われています。

本講座では、江戸時代の怪談や出版事情、文芸作品を通じて、当時の人々がどのように文化を享受していたのかを見ていくとともに、当時の人々の考え方や価値観についても探っていきます。江戸時代の文化の奥深さと一緒に楽しみましょう。



全3回

8/30(土)・9/6(土)・9/13(土)

\*奈良大学所蔵品以外は、上から順に、国立公文書館デジタルアーカイブ『弘賢隨筆』、国立国会図書館デジタルコレクション『心学早染草』、同前『小紋裁』、同前『新美人合自筆鏡』(同前)、同前『画本東都遊』より抜粋

主催：奈良大学  
NARA UNIVERSITY

共催：社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会  
(奈良市北部会館市民文化ホール)

CROSS OVER

企画：奈良大学総合研究所

1 第2次  
奈良市文化  
振興計画  
市民の文化に対する意識の高揚

3 第2次  
奈良市文化  
振興計画  
地域の文化財の保存及び活用

10 第2次  
奈良市文化  
振興計画  
文化的振興のための学術研究の拠点作り

# 江戸時代の文化とその広がり — 怪談、出版、文芸から見る江戸時代 —

場 所 奈良市北部会館 市民文化ホール 開講時間 13:00~14:30(開場12:30) 定 員 100人 受講料 無料

## 第1回 8/30(土) 「石塔磨き」の怪異 — 江戸のメディアと噂 —

文政13年(1830)の江戸では、墓石がいつのまにか磨き上げられる事象が発生しました。磨かれた墓石はあるのに、誰ひとりとして墓石を磨いている人を見た人はいませんでした。この不思議なできごとについて、瞬く間にさまざまな噂が広がっていきました。噂の流布に、どうメディアが関わって情報が構築されていったのか考えます。

【プロフィール】

奈良大学文学部教授

**村上 紀夫**

(むらかみ のりお)

京都を主なフィールドとして、民間で活躍した宗教者の実態と都市の庶民信仰について研究している。政治史や経済史とは少し違った文化史という切り口で見ると社会はどのように見えるかを考察している。専門分野は、日本文化史。代表的な著書・論文は、『近世京都寺社の文化史』(法藏館)、『怪異と妖怪のメディア史』(創元社)など。

## 第2回 9/6(土) 海賊版の時代 — 江戸の出版 —

大河ドラマ「べらぼう」で江戸時代の出版が大きく取り上げられ、「偽版」(海賊版)を出した片岡愛之助が中村隼人にとっちめられるお話が出てきました。江戸時代の出版界では海賊版が横行し、愛之助さんだけが極悪人だったというわけではありません。つっこみの甘かったNHKに替って、海賊版をめぐるさまざまな人間模様を覗いてみましょう。

【プロフィール】

奈良大学名誉教授

**永井 一彰**

(ながい かずあき)

板木研究では日本を代表する研究者として、度々新聞やテレビでも紹介されている。専門分野は、日本近世文学。代表的な著書・論文は、『藤井文政堂板木売買文書』(青裳堂書店『日本書誌学大系』)、『月並発句合の研究』(笠間書院)、『板木は語る』(笠間書院)など。

## 第3回 9/13(土) 山東京伝の画業と文業 — 蔦屋重三郎との関係を通して —

江戸時代を代表する戯作者・山東京伝は、蔦屋重三郎によって、画才・文才を見出されたことが知られています。今回は、京伝の画業・文業を概観しながら、その特筆すべき点についてお話をします。ユーモアあふれる京伝戯作の世界を味わってみましょう。

【プロフィール】

奈良大学文学部准教授

**中尾 和昇**

(なかお かずのり)

曲亭馬琴の小説(読本・草双紙など)を「様式」というアプローチから研究している。最近では、山東京伝や十返舎一九といった同時代作者と比較しつつ、演劇(淨瑠璃・歌舞伎)の利用実態について追究している。専門分野は、日本近世文学。代表的な著書・論文は、『馬琴読本の様式』(清文堂出版)、『奈良の文学とことば』(共著、ナカニシヤ出版)など。

●お申し込み・お問い合わせ先

### 奈良市北部会館 市民文化ホール

〒631-0805 奈良市右京1-1-4  
TEL.0742-71-5747 FAX.0742-71-5793

休館日
・毎週月曜日(祝日を除く)
・祝日の翌日

●お申し込み方法

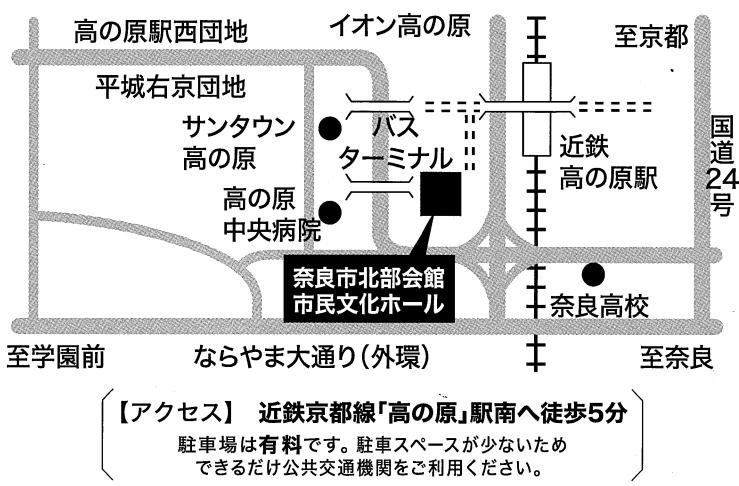
- A 「往復はがき」による申し込み ※往復はがき126円(往:63円、復:63円)  
 ①講座名「高の原カルチャーサロン」②郵便番号、③住所、  
 ④氏名(ふりがな)、⑤年齢、⑥性別、⑦電話番号を記入の上  
 「奈良市北部会館市民文化ホール」へ郵送してください。

- B 「市民文化ホール備付用紙」と「返信はがき」による窓口申し込み

※はがき1枚に1人限り・1枚で全講座3回分の受付です

締切:令和7年8月19日(火)必着

申込み多数の場合は抽選・定員に満たない場合は引き続き受付



当日10時30分時点で奈良市北部に気象警報が発令されている場合、講座は中止とさせていただきます。

尚、代替日はございません。また、災害、その他事情により講座が中止となる場合がございます。ご了承の程、宜しくお願ひ致します。